D.Y.F.C　群馬県　大崎つりぼり
トラウトルアースクール　開催レポート

開催日：2024年11月30日（土）

パワフルな引き味と自体の美しさで話題のエリアを２日間貸し切りに！
状況に適したルアーセレクト法などを学びトラウトたちを楽しくゲット!!

11月30日と12月1日の２日間は、名峰・赤城山の南麓（群馬県前橋市）に位置するロケーション抜群のエリア施設（管理釣り場）『大崎つりぼり』で、トラウトルアースクールを開催しました。
当地は養殖場が翼セエリアで、釣れる魚のどれもがとても美しく、プロポーションも抜群。今回でもパワフルなやりとりが楽しめるとトラウトファンから支持を受けている丸、食べても美ぅまぃそれ目当てにお客さんが来るほどです。今回はおったらインポートラウトを放流で大人気の最新ボにしてもらい、いつもら、に振興しながらいただく「教育」も同時に行いました。
両日とも開会式の後、トラウトマスターの高田直也プロがキャスティングのコツや基本となるルアー・スプーンとクランクの使い方を説明。まずは知識を頭の中に入れて、競技にボンド（当）へ向かいました。
初日、２日目とも開始の合図と同時で緩イナに放流がおるとのことで、一発スタートで釣りを開始。放流直後や緩イナは、浜手なカラー（金や銀ベース）のスプーンが効果的と説明を受けていたので、参加者たちはそのルアーをセットして開始の合図を待ちました。そしてスタートのホーンが鳴ると同時に、あちこちから「ヒット！」の声。参加者の大半が３回程度のキャストで魚をキャッチしてスタートダッシュを決めました。
なお、ここでキャストミスを犯した人やクソ魚を釣りなかった人もいましたが、そこは各班にいているコーチ陣が素早くサポート。マンシーマンで指導を行い、開始40分後には全員が魚を得ることができました。
その後は徐々に厳しが出ましたが、高田プロの「状況の変化を見極めてルアーのカラーや種類をチェンジして探ってみよう」とのアドバイスで、参加者たちは再びアクションを出すことに成功。遠めまたた参加者は、『ルアーを遠い分けて来てもら長いうかないので、コーチに対応策を聞いて、よりスロービに誘えるクランクを使って巻けばました」、「素晴に波状が出たので強い引けや、というヒントをコーチからもらったので、トップを探せるポッパーにルアーを変えて、誇い方を驚きながら探って釣り楽しました」とのことでした。
２日目は、緩イナに放流があったにもかかわらず活性が低く、アクションを取れずに苦労しました。調査会体に太陽が出たりで２番が様々にルアーを使い始め、最初には苦慮で厳しが出角になる展開となりました。
この状況変化に高田プロとコーチ陣は、その都度、参加者に的確なアドバイスを送り、魚を掛れるルアーを数えて狙い釣りを行い、最初までに全員的魚を達成。午後はさらに活性が上がり、一時はトップでガイドフィッシングでの入れ食いモードを楽しむことも出来ました。
初日、２日目とも参加者たちは、状況に合わせたルアーチェンジが的確を左右することを学習。また、いろいろと天しておることの楽しさと奥深さを学んでスクールを終えました。

副題60年の歴角様を翼セ『大崎つりぼり』は、食べるための魚を育てることを重視、そんな光翼で美味しいトラウトたちを釣り楽に入れてファンを魅了しています。ちなみに施設では、獲れたてのレインボートラウトを炎火焼や塩焼だにして提供。お客様のみご利用もＯＫで、８８Ｑ当記七元様、赤城山麓の豊かな水源で育てた「森そだちサーモン」の最高美ねなども販売しています。
※『大崎つりぼり』は、DYFC会員に特典が付くベースキャンプにもなっています！

４年度りにＤＡＹで開催した『大崎つりぼり』での丸スクールは、土日の両日ともこの日をあしみにしていた参加者たちが、やる気満々で集合時間前に集格、元気良く挨拶をしてエントリーを完了させていました。
なおスクールは、安心・安全を第一に考え、受付後にオリジナルのライフジャケットを身に着けていただいています。

フィッシング事業『DAIWA』を展開するグローブライド（株）では、不要なウエアから新たにウエアを作り出すリサイクル活動『THE EARTH-FRIENDLY RECYCLEプロジェクト』を実施中！スクール会場にもその回収BOXを設置していますので、ご不要になったウエア持参のご協力をよろしくお願いいたします。ちなみに今回は、ウエアを持参してくれた方ぼう全いらっしゃいました。ありがとうございました。
※リサイクル活動の詳しくはこちらをご覧ください。
https://www.daiwa.com/global/ja/be-earth/recycle/

ライフジャケットを着ならプロたちと記念写真を撮って、まずは参加した証を残します。また参加者が全員集まるまでの間に、恒例のミニスクールを開催。ライフジャケットの安全性とイザという時の使い方を確認したり、結び方の基本などを学びました。

開会式の後、トラウトマスターの高田直也プロによるかり方のレクチャーがあり、キャスティングのコツや基本となるスプーンやクランクの使い方などを学びました。その後、各班がボンド（当）へ移動。その途中に昭和の記念写真を撮ってモチベーションアップを計りました！

班別に思い思いの釣り座に着いたらセッティングを開始。コーチはこの時、参加者たちを良く見て、全員に説明が分かるよう話のレベルを合わせつつ、それぞれのレベルに合う話もしながらコミュニケーションをとります。なるべくセッティングは一人で行ってもらい、の回避けに来た時、一人で準備をして来られるようにサポートしています。

緩マズメは活性が高いことと緩イナの放流を考慮、誰もが釣れるチャンスがあると判断して両日とも一発スタートで釣りを開始しました。参加者全員のセッティングが完了したと同時に、スタートの合図で一斉にキャスト。すぐさまヒットの声があちこちから上がりました。コーチたちはやり取りのサポートと少年入れて大忙しい！ＩＩＩ汗をかいていました。

釣りやすい環境だったとはいえ、初日はスタートダッシュが決まり、３投目程度で大半の参加者が魚をキャッチ！その後も活発の釣れっぷりで、なんと開始40分で全員分釣を達成。『大崎つりぼり』の魚影の濃さに驚かされました。この時にセットして各先は初釣り型がやってしたが、元間が更をについて魚型の違いが活発になり、スリム辺れる釣り型も楽しめました。

２日目は、放流があったにもかかわらずスロースタートで、ポツポツとしか釣れず苦戦しましたが、前日同様に太陽が調整会体を照らすようになると徐々に食いが活発となりました。コーチ陣はその時々で最適なルアーセレクト術を教え、的確に導き、終わってみれば大型魚が多く釣れたスクールとなりました。

今回は『大崎つりぼり』さんが、お昼までに釣った魚（1.5キロまで）を炊いて真空パックで持ち帰れるようにしてくれたり、お昼にれった魚を重機にて焼べせずくれるなどのサービスを実施してくれました。これには参加者も保護者たちも大喜び、こんなサービスを受けられるのもDYFCスクールならではの特典と覚えて下さい！

テレビ雑誌でおなじみのテスター陣を始め、釣りのエキスパートたちが子供たちを毎回サポートしています!!